（別紙4（2））

事業所名 グループホームあじさい

作成日： 平成 26 年 10 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、**自己評価及び外部評価結果をもとに**職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	22	カンファレンス時の家族の参加率が悪く、参加を促し、共に計画書を作成し、取り組んでいくことを認識してもらえるようにしていくこと。	カンファレンスへの家族の参加を促す。	家族会でも家族にケアプランの意義を説明し、今まで以上に参加をしてもらえるよう協力を促している。	12ヶ月
2	31／33	医療職がいないため、緊急時には主治医や本館看護師にてフォローできる体制をしているが、利用者の重度化に伴い、より一層医療的な支援が必要となってきている。	今まで以上に、医療連携ができるように本館看護職と連携を図り、マニュアル化をする。	平成26年度より、本館看護職と連携を密にし、日常的な健康管理ができる下地づくりができた。平成26年度より重度化のすすむｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑにおいて、終末を医療機関で過ごすだけでなく、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑでもできる限りの対応ができるようにしていく。	12ヶ月
3	27	ケアマネジメントにおいて、アセスメント様式の見直し、カンファレンスの在り方・進め方、モニタリングの毎月実施、介護計画表の見直しなどを今年度新たな仕組みの中で取り組んでいく必要がある	全職員がケアプランをよく理解し、より個別ケアが進めれるようにしていく。	ケアマネジメントについてのスタッフの理解促進。アセスメント様式の見直しと実施、カンファレンス（家族参加、プラン見直し、毎月モニタリング）の在り方を改善。 介護計画表の様式見直し。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。